



みながっ子

1

月号

学校教育目標 「お互いを大切にし、主体的に学び続ける児童の育成」
 めざす児童像 「かしこく やさしく たくましく やりぬこうとする子供」
 ★進んで学び合う子供 ★自分も人も大切にする子供
 ★自分のめあてに向かって粘り強くやり抜こうとする子供



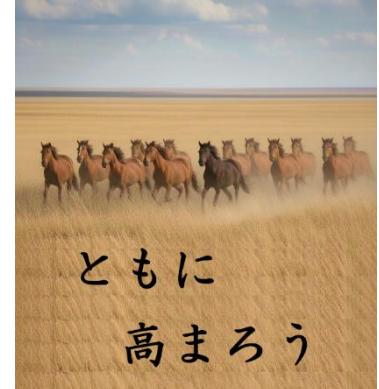
三永小学校
のHPは、
こちらから

後期後半スタート

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいいたします。

1月7日（水）後期後半がスタートしました。今年は午年。後期後半始めの会では、干支にちなんで、野生の馬の群れが持つ三つの特徴について話しました。一つ目は仲間と心を合わせ「共に走る力」、二つ目は相手の気持ちを察する「優しい心」、三つ目は困難な道も「走り抜く力」です。これらは本校のめざす児童像である「進んで学び合う」「自分も人も大切にする」「粘り強く取り組む」姿に重なります。「一人で頑張るのではなく、友達と『どう思う？』と教え合い、共に賢くなること」、「相手の気持ちを考え、自分がされて嬉しいことを広げること」、そして、「目標に向かい一歩ずつ前へ進むこと」、この馬の群れのように、お互いを大切にしながら全員で高まり合っていきたいと伝えました。

また、残り3か月を充実したものにするために、各学年で学年集会を行いました。これまでの活動を振り返ったり、今の課題やこれからがんばりたいことを考えたりしました。1月は「いぬる」、2月は「逃げる」、3月は「去る」と言われるよう、残り3か月は、あっという間に過ぎていきます。学習面についても生活面についても、しっかり力の積み上げをして次の学年に自信をもって進めるようにしていきたいと思います。



ともに
高まろう



校内書初め大会

1月9日（金）に、校内書初め大会を行いました。これまでの書写の学習で学んだことを生かして、1、2年生は硬筆、3年生以上は毛筆で、学年の課題に取り組みました。新年を迎え、気持ちも新たに、今年1年がんばるぞ！という気持ちを込めて、丁寧に書きました。



国際交流（1・2・4・6年生）

12月16日（火）に、東広島市教育委員会の「グローバルマインド育成事業」として、ガーナ、フィリピン、中国、メキシコ出身の4名の講師をお迎えし、1、2、4、6年生がお話を聞きました。各国の自然や世界遺産、食べ物、伝統衣装などについて、写真や実物を交えながら分かりやすく紹介していただき、子供達は興味津々な様子でした。ガーナには、日本のお餅と似た食べ物があることや「オクラ」を日本と似た発音で呼んでいることを知り、親しみを感じていました。パインアップルの繊維でできているフィリピンの伝統衣装を触らせていただいた時には、「ドレスの生地みたい。」と喜んでいました。また、中国の万里の長城やメキシコの古代文明の壮大さに「すごい！」と感動していました。普段の生活では触れる機会の少ない世界の文化に出会い、視野を広げる貴重な時間となりました。



食育（2・6年生）

食育では、栄養教諭の源氏田先生をお迎えし、2年生と6年生が学習を行いました。

6年生は、12月19日（金）、「1食分の献立作りにチャレンジしよう」をテーマに、主食・主菜・副菜の組み合わせや栄養バランスを考えながら、家庭科での学びを生かして自分だけのオリジナル献立を考えました。

2年生は、1月16日（金）に「やさいのパワーをしよう」の学習に取り組み、野菜の体によい働きについて知ったり、野菜クイズで楽しく理解を深めたりしました。食への関心を高める充実した時間となりました。

食の選び方や食習慣は、子供達の健康だけでなく、将来の生活を大きく左右する大切な力になります。学校と家庭が連携して食育に取り組むことで、子供達は自分の体を守り、よりよい生き方を選び取る力を身に付けていきます。ぜひ、ご家庭でも話題にしてみてください。



科学の芽育成講座「プログラミング的思考」（6年生）



東広島市教育委員会主催の科学の芽育成講座として、広島大学の鈴木裕之准教授をお迎えして、6年生が理科の学習を行いました。テーマは「光に反応してスイッチON！プログラミング的思考がわかる電子オルゴールの作成」。はんだ付けにも挑戦し、「光が当たると音が鳴る」という回路の仕組みを考えながら電子オルゴールを完成させました。補助についてくださった大学生の皆さんにも支えられ、子供達は説明書をよく読み取りながら一つ一つの工程を丁寧に進めていました。自分の手で回路をつくり上げる体験を通して、ものづくりの楽しさと達成感を味わうこともできました。

薬物乱用防止教室（6年生）

12月4日（木）に学校薬剤師の川本先生をお迎えし、6年生が学習しました。違法薬物の恐ろしさやオーバードーズの危険性について具体的に教えていただき、自分の身を守るために大切なことを考える時間となりました。自分や家族を大切にする意識を高める貴重な学びとなりました。



のこぎりに挑戦（3年生）



3年生は、図画工作科「のこぎりザクザク つないでつけて」の学習で、初めてのこぎりを使った木工作に挑戦しました。最初は「のこぎりって重い…。」「どう持てばいいのかな。」とおそるおそる刃を動かしていましたが、練習を重ねるうちに安全な持ち方や切り方を身に付け、少しずつ自信のある表情に変わっていきました。木を足でしっかりと押さえることに苦心しながらも、まっすぐ切れるように集中して取り組む姿が印象的でした。切った木切れは、向きや組み合わせ方を工夫しながら思い思いの形につないで作品に仕上げていきました。

ものの温度と体積（4年生）

4年生は、理科「ものの温度と体積」で、金属・水・空気の体積の変化について実験を通して学びました。金属の玉と輪を使った実験では、ガスコンロで金属の玉を温めると体積がわずかに増え、冷えているときには通っていた輪を通らなくなる様子を観察しました。この体験から、温度が上がると金属の体積が大きくなると実感をもって理解することができました。こうした観察や実験を重ねる中で、これまでの学習や生活経験をもとに予想や仮説を立て、主体的に問題を解決しようとする態度や科学的に考える力を育んでいます。



みんなでつくる安全登下校大作戦

地域の皆様、保護者の皆様には、平素から子供達が安全に登下校できるよう見守っていただき感謝申し上げます。学校でも指導を続けていますが、見守りをしてくださる保護者の方や車のドライバーの方にご心配をおかけしてしまう場面もあります。そこで、「みんなでつくる安全登下校大作戦」として、意見ポストを設置し、子供達自身から改善点を募集しました。横に並んで話しながら歩く、前を見ずに間が空く、集合時刻に班員がそろわない、列を抜かすなどの課題が挙がり、これからがんばることとして、「一列歩行を守る」、「間をあけないように歩く」、「低学年に合わせた速さを考える」、「自分の命を守る意識をもつ」、「自分から変わろうとする姿勢を示す」、「お互い声をかけ合う」などたくさんの意見が出ました。ご家庭でも、朝の集合時刻を守ったり安全に気を付けて歩いたりするように、声かけをお願いいたします。

サッカーボールの寄贈

明治安田生命様より「未来世代応援アクション with Jリーグ」の取組としてサッカーボールを寄贈していただき、体育委員会の代表児童が受け取りました。いただいたボールは体育の授業やクラブ活動などで大切に活用していきます。



三永どんど祭り

1月17日（土）、三永どんど祭りが開かれました。午前の部は、全児童が参加しました。

もちつきは、1年生から6年生まで全員が体験させていただきました。もち米は、5年生が、田植えや稻刈りをしたお米です。前日に、5年生が丁寧に研いで一晩しっかりお水に浸しておきました。当日の朝、保護者・地域のボランティアの皆様が蒸してください、石うすで、一人ずつ順番に杵でついていきました。友達やボランティアの皆さん、「よいしょ！」という元気な掛け声に応援してもらって、重い杵をしっかり持って、石臼の真ん中めがけて振り下ろしました。

どんど作りは高学年が担当しました。4年生は、「御幣（ごへい）」を作りました。5色の色画用紙を型紙にそって丁寧に切りました。PTA執行部の方も手伝ってください、一人一組ずつ完成させました。5年生は、もち焼きや飾り用の竹を運んだり、竹の枝打ちをしたりして、力仕事に汗を流しました。竹の棒で枝を叩いてスパッと枝が外れる快感を味わっていました。6年生は、4つのグループに分かれて、地域の皆様のご指導のもと、どんどの組み立てに挑戦しました。骨組み用の竹をちょうどよい長さに切ったり、竹を組み合わせて縄で縛ったりしていました。慣れないこぎりや縄と格闘しながらも、全部で4基のどんどを完成させました。

その後、校庭中央に組まれたどんどに火が灯されました。子供達が冬休みに書き上げた「書き初め」が飾られたどんどからは、煙が天高くのぼっていきました。高く舞い上がる煙を見上げながら、今年一年の無病息災と、さらなる成長を全員で祈願しました。

午後の部では、地域の皆様の交流の場として開放され、世代を超えた温かな語らいの時間が流れました。このどんど祭りが、地域の絆を深める行事であることを改めて実感する一日となりました。

最後になりますが、三永まちづくり協議会の皆様をはじめ、準備や運営など、お世話になった地域の皆様、そして保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

